



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 チムニー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3178 URL <https://www.chimney.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 茨田 篤司
 問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員財務担当（氏名） 阿部 真琴 (TEL) 03(5839)2600
 半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	12,759	3.3	316	△24.4	360	△27.0	176	△14.7
2024年3月期中間期	12,345	40.2	418	—	493	—	207	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 320百万円(226.1%) 2024年3月期中間期 98百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	9.17	—
2024年3月期中間期	10.75	—

(参考) EBITDA 2025年3月期中間期 774百万円(△16.7%) 2024年3月期中間期 930百万円(—%)

*EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却額

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	16,483	5,286	32.1
2024年3月期	17,893	5,062	28.3

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 5,284百万円 2024年3月期 5,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2025年3月期	—	5.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,300	2.2	1,160	△10.8	1,300	△10.1	840	△10.5	43.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	19,340,800株	2024年3月期	19,340,800株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	47,895株	2024年3月期	47,895株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	19,292,905株	2024年3月期中間期	19,292,973株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の高まり等を受けて、緩やかな回復基調で推移しましたが、エネルギー価格の高止まりや物価上昇が続き、先行きは不透明な状況が続きました。

外食業界におきましては、お客様のご来店は回復しているものの、物価高によりお客様の節約志向・選別志向が高まり、原材料費・物流費・光熱費・人件費の上昇なども相まって、事業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループは「お客様からありがとうと言われる企業になろう」という企業理念のもとお客様に満足してお帰りいただき、また来たいと思っただけけるよう、継続してQ S C A (*1)の向上に取り組んでおります。

当社の創業40周年で迎えた当期は、感謝の気持ちを込めて感謝祭を開催しております。当中間期（4月から9月）においては、第1弾から第5弾の感謝祭を実施しました。「牛カイノミひとくちステーキ」、船上凍結の品質が高い焼津産鰹を使用した「薬味たっぷり鰹のたたき」、「本まぐろ赤身刺身」、お箸でほぐれる柔らかさが自慢の「やわらかスペアリブ」、お一人様から注文しやすい「うなぎ串」「うなぎ肝串」など、多くのお客様からご注文をいただきました。また、コラボメニューに取り組み、料理家の栗原心平氏とのスペシャルコラボメニューとして、阿武隈川メイプルサーモンを使用した「阿武隈川メイプルサーモンのタルタル」「阿武隈川メイプルサーモンのニラだれカルパッチョ」、株式会社湖池屋の「カラムーチョ」との40周年コラボメニューとして、「ヒーヒーHOTなカラムーチョ手羽先」「カラムーチョチャーハンホットチリ味」をご用意し、ご好評をいただきました。感謝価格の390円メニューもご用意しております。

メディア戦略、WEB・SNS販促につきましては、引き続き、人気Y o u T u b e rや他社製品等とのコラボレーションなどに積極的に取り組み、認知拡大に努めてまいりました。インバウンド及び国内旅行団体、宴会の集客は引き続き堅調に推移しております。

店舗開発としましては、直営店2店舗、FC店1店舗を出店し、お客様に居心地の良い空間を提供するため、店舗のブラッシュアップ（改装、業態転換、修繕等）をすすめてまいりました。

コントラクト事業 (*2) におきましては、引き続き、安全・安心な「また行きたくなる店舗づくり」を心掛け、各種フェアの実施や宴会の獲得に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は微増したもののコスト増を吸収するまでには至らず、当中間連結会計期間の売上高は12,759百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は316百万円（前年同期比24.4%減）、経常利益は360百万円（前年同期比27.0%減）となりました。また、投資有価証券評価損192百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は、176百万円（前年同期比14.7%減）となりました。

*1 Quality（品質）、Service（サービス）、Cleanliness（清潔さ）、Atmosphere（雰囲気）

*2 防衛省、法務省所管の厚生施設内における飲食店の運営等

当中間連結会計期間の店舗数につきましては、以下のとおりであります。

	前期末	新規出店	閉店	FC 転換数	直営 転換数	中間期末
直営店	211	1	△6	△3	1	204
コントラクト店	94	1	—	—	—	95
全直営店計	305	2	△6	△3	1	299
FC店	148	1	△5	3	△1	146
当社合計	453	3	△11	—	—	445

(連結子会社)

(株)紅フーズ コーポレーション	18	—	—	—	—	18
めっちゃ魚が 好き(株)	8	—	—	—	—	8
当社グループ合計	479	3	△11	—	—	471

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べて1,410百万円減少し、16,483百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が88百万円増加した一方で、現金及び預金が809百万円、売掛金が340百万円、のれんが231百万円減少したこと等によります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて1,634百万円減少し、11,196百万円となりました。この主な要因は、前受収益が227百万円増加した一方で、買掛金が940百万円、未払金が479百万円、有利子負債が407百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて224百万円増加し、5,286百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いが96百万円あった一方で、その他有価証券評価差額金が142百万円増加し、当中間連結会計期間の業績により親会社株主に帰属する中間純利益を176百万円計上したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、営業活動により11百万円減少、投資活動により290百万円減少、財務活動により507百万円減少した結果、前連結会計年度末より809百万円減少し7,042百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の営業活動の結果減少した資金は、11百万円（前年同期は1,864百万円の増加）となりました。主な内訳は、税金等調整前中間純利益181百万円、減価償却費150百万円、のれん償却額231百万円、投資有価証券評価損192百万円、売上債権の減少340百万円があった一方で、仕入債務の減少940百万円、未払金の減少361百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の投資活動の結果減少した資金は、290百万円（前年同期は58百万円の減少）となりました。主な内訳は、差入保証金の回収による収入が96百万円あった一方で、固定資産の取得による支出が323百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の財務活動の結果減少した資金は、507百万円（前年同期は2,021百万円の減少）となりました。主な内訳は、長期借入れによる収入が1,000百万円あった一方で、短期借入金の減少が1,360百万円、長期借入金の返済が46百万円、配当金の支払額が96百万円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年10月31日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,852,493	7,042,562
売掛金	801,254	460,442
F C債権	248,474	203,208
商品	277,185	280,455
貯蔵品	10,004	9,378
その他	599,724	554,314
貸倒引当金	△210,651	△196,820
流動資産合計	9,578,486	8,353,541
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,129,653	1,199,881
その他（純額）	215,955	233,935
有形固定資産合計	1,345,608	1,433,816
無形固定資産		
のれん	2,693,246	2,461,371
その他	43,333	31,726
無形固定資産合計	2,736,580	2,493,097
投資その他の資産		
差入保証金	3,222,782	3,177,294
その他	1,279,767	1,294,644
貸倒引当金	△269,559	△268,742
投資その他の資産合計	4,232,990	4,203,196
固定資産合計	8,315,179	8,130,110
資産合計	17,893,665	16,483,651

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,747,351	806,856
F C 債務	250,042	199,271
短期借入金	5,000,000	3,640,000
1年内返済予定の長期借入金	128,214	310,268
未払法人税等	47,418	23,416
賞与引当金	145,944	154,236
店舗閉鎖損失引当金	19,952	14,227
資産除去債務	33,784	22,990
その他	1,684,418	1,467,278
流動負債合計	9,057,125	6,638,546
固定負債		
長期借入金	1,983,146	2,754,842
退職給付に係る負債	227,694	232,020
資産除去債務	743,129	735,281
その他	820,056	836,126
固定負債合計	3,774,026	4,558,270
負債合計	12,831,151	11,196,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	4,197,792	4,197,792
利益剰余金	936,870	1,017,399
自己株式	△101,152	△101,152
株主資本合計	5,133,510	5,214,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△71,680	71,273
退職給付に係る調整累計額	△1,946	△973
その他の包括利益累計額合計	△73,626	70,300
非支配株主持分	2,629	2,494
純資産合計	5,062,513	5,286,835
負債純資産合計	17,893,665	16,483,651

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	12,345,733	12,759,242
売上原価	3,792,687	3,994,660
売上総利益	8,553,046	8,764,581
販売費及び一般管理費	8,134,628	8,448,405
営業利益	418,418	316,175
営業外収益		
受取利息	528	646
受取配当金	2,000	2,620
持分法による投資利益	55,296	36,227
受取手数料	30,054	32,883
その他	25,032	12,453
営業外収益合計	112,912	84,830
営業外費用		
支払利息	34,818	32,013
その他	2,619	8,409
営業外費用合計	37,438	40,423
経常利益	493,892	360,582
特別利益		
受取補償金	—	68,000
特別利益合計	—	68,000
特別損失		
固定資産売却損	—	100
固定資産除却損	1,880	—
減損損失	341,557	32,014
投資有価証券評価損	—	192,809
店舗閉鎖損失引当金繰入額	30,625	7,306
その他	600	15,000
特別損失合計	374,662	247,230
税金等調整前中間純利益	119,229	181,351
法人税、住民税及び事業税	23,058	21,945
法人税等調整額	△111,103	△17,452
法人税等合計	△88,045	4,492
中間純利益	207,274	176,859
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△238	△135
親会社株主に帰属する中間純利益	207,513	176,994

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	207,274	176,859
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110,463	142,953
退職給付に係る調整額	1,565	973
その他の包括利益合計	△108,898	143,926
中間包括利益	98,376	320,786
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	98,614	320,921
非支配株主に係る中間包括利益	△238	△135

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	119,229	181,351
減価償却費	154,373	150,394
減損損失	341,557	32,014
のれん償却額	247,338	231,875
長期前払費用償却額	4,557	4,582
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△31,847	△14,647
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,197	8,292
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△28,332	△5,725
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,486	5,299
受取利息及び受取配当金	△2,528	△3,266
支払利息	34,818	32,013
持分法による投資損益 (△は益)	△55,296	△36,227
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	192,809
固定資産売却損益 (△は益)	—	100
固定資産除却損	1,880	—
受取補償金	—	△68,000
売上債権の増減額 (△は増加)	△121,696	340,812
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△26,410	△2,643
F C債権の増減額 (△は増加)	37,934	45,266
仕入債務の増減額 (△は減少)	773,753	△940,494
F C債務の増減額 (△は減少)	1,942	△50,770
未払金の増減額 (△は減少)	289,278	△361,113
その他	186,298	266,031
小計	1,926,559	7,955
利息及び配当金の受取額	2,528	3,266
補償金の受取額	—	68,000
利息の支払額	△33,843	△29,791
法人税等の支払額	△48,484	△46,567
法人税等の還付額	17,250	620
その他	—	△15,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,864,010	△11,516
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△143,359	△323,587
固定資産の売却による収入	—	124
固定資産の除却による支出	△36,571	△56,648
差入保証金の差入による支出	△27,910	△50,498
差入保証金の回収による収入	113,265	96,439
預り保証金の返還による支出	△24,362	△325
預り保証金の受入による収入	63,556	55,199
その他	△3,018	△11,167
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,401	△290,465

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,000,000	△1,360,000
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△7,680	△46,250
配当金の支払額	△25	△96,352
リース債務の返済による支出	△13,895	△5,346
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,021,600	△507,949
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△215,991	△809,931
現金及び現金同等物の期首残高	7,438,486	7,852,493
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,222,495	7,042,562

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、居酒屋を中心とした飲食事業の他にセグメントとして、コントラクト事業がありますが、飲食事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。